

TBS「NEWS23」の報道に対する荒川区議会の見解について

9月25日放送のTBS番組「NEWS23」において、特別区である23区の区議会の中で、本会議の一般質問について、年間の時間制限を設けているのは、荒川区議会を含め2区のみである旨の報道がなされました。

他区議会の状況を見ると、本会議の一般質問について、年間の制限時間を設けていなくても、定例会ごとに議員1人当たりの質問時間を定めるなど、何らか一定の制限を設けて運用しており、事実上、年間の時間制限を設けているのと変わらない状況です。

このため、荒川区議会では、今回の報道内容は視



聴者に対し、誤解を与えかねない内容であると考え、TBSに対し報道内容の訂正と特別区の区議会の一般質問持ち時間制度の正確な報道を行うよう求めました。

なお、荒川区議会では、本年5月より、議会の権威を高めるため、通年議会制を導入しております。通年議会制の導入により、年度(5月～翌年4月)で一回の定例会(通年の会期)となったため、従前の「一議員・一定例会10分とし、単年度40分」を「二議員・単年度(5月～翌年4月)で50分」とし、質問時間の拡大をしたところです。

荒川区議会は、今後とも、区民の皆様への負託にこたえられるよう、議会運営を行ってまいります。

※一般質問・・・議員が、区長等の執行機関に対し、行政全般にわたって行う質問

区議会定例会・9月会議

平成25年度一般会計決算ほか
3特別会計決算を認定

平成26年度荒川区議会定例会・9月会議は、9月11日から10月15日までの35日間の会議期間で開かれました。

9月会議の1日目と2日目には、8人の議員から区政全般にわたり一般質問が行われました(要旨は2・3・4面に掲載しています)。

9月会議では、議案41件が提出されました。このうち平成25年度決算4件は、決算に関する特別委員会を設置して審査を行いました(議案の審議結果は8面に掲載しています)。

掲載記事のご案内



<p>8面</p> <p>意見書提出 採択した請願・陳情 請願・陳情とは 議案の審議結果</p>	<p>7面・6面</p> <p>決算に対する討論(続き) 委員会活動 ・議会運営委員会 ・常任委員会 ・特別委員会</p>	<p>5面・4面</p> <p>区政のここをきく 一般質問要旨(続き) 齊藤 邦子議員(共産党) 決算審査の概要 ・決算の審査経過 ・監査委員による決算審査の報告 平成25年度主要施策の成果 説明(要旨) ・主な総括質疑 決算に対する討論</p>	<p>3面・2面</p> <p>区政のここをきく 一般質問要旨 志村 博司議員(自民党) 中村 尚郎議員(公明党) 相馬 堅一議員(共産党) 清水 啓史議員(民主・市民) 小坂 英二議員(日本創新党) 浅川 喜文議員(正論の会) 齊藤 泰紀議員(自民党) 9月会議の日程</p>
--	---	---	---



区政のごとをきく

一般質問要旨

荒川区の燃えない街づくりと東京オリンピック・パラリンピックに向けての取り組みを問う



志村 博司 (自民党)

荒川区の燃えない街づくりを問う
○ 都の不燃化特区事業に区約3割の地域が指定された。木密地域改善のため、指定期間の平成32年までに特区の様々な事業メニューを実現しなければならぬ。地区や事業に優先順位を設定し、集中して取り組むべきと考える。また、特区事業での優先整備路線の総延長と、期間中にどのくらいの割合を拡幅整備する計画なのかを問う。加えて、事業終了後は補償や助成が出ない問題にはどう考えるのか。さらに、東京女子医大通りは、タクシーの待ち等の問題がある。地域とよく協議し街づくりを進めるべきと考えるがどうか。

○ 地区や事業に優先順位を設定し、集中して取り組むという観点で木密地域改善に取り組む。あわせて執行体制のさらなる強化を図り、民間事業者等とも十分に連携して進める。また、優先整備路線の拡幅すべき道路は約4600メートルで、事業期間内の整備を目標としていく。一方、事業の終了段階において未整備区間がある場合には、事業期間を延伸するなど沿道の方々に配慮した整備に努める。東京女子医大通りではタクシー問

民応援会議」を開催したが、今後どのような活動を考えているのか。

また、区内では首都大学東京や義肢装具サポートセンター等が障がい者スポーツの支援を行っているほか、障がい者スポーツ選手も在住している。区としても障がい者スポーツやパラリンピックに対する取り組みに様々な形で関わり、多くの区民が障がい者スポーツやパラリンピックに触れ合う取り組みを行うべきと考えるがどうか。

○ 荒川区では「荒川区2020年東京オリンピック・パラリンピック推進本部」を設置し、「荒川区

○ 東京オリンピック・パラリンピック、そしてデフリンピック、スペシャルオリンピックスは、人類が誇る世界的な祭典である。海外からの旅行者をもてなすために、語学ボランティアの養成や区内標

総務省の「今後の新地方公会計の推進に関する研究会」の報告を受けて今後の課題と方向性及び子育て支援策の充実を問う



中村 尚郎 (公明党)

総務省の「今後の新地方公会計の推進に関する研究会」の報告を受けて今後の課題と方向性を問う

○ 総務省は、新地方公会計の統一モデルを打ち出し、固定資産台帳整備、複式簿記導入を、全ての自治体に適用する新基準を求めている。区の全体の体制整備及び今後の方向性について見解を問う。

○ 現在、関係部課長等による検討委員会に加え、現場の若手職員による作業部会を設置しており、平成28年度から東京都方式に移行できるように鋭意努力する。

○ 固定資産台帳は自治体経営の基盤となる。台帳の整備に当たっては、適切な庁内体制の整備を図り、資産評価に多くの時間を費やすべきではないと考えるがどうか。

○ 台帳の整備には、膨大な作業と長い期間が必要とされるため、一定程度で割り切る必要性もあり、

住み慣れたまちで住み続ける医療・介護支援及び子どもたちの貧困対策と子ども子育て支援新制度を問う



相馬 堅一 (共産党)

住み慣れたまちで住み続ける医療・介護支援を問う

○ 身近な場所に介護の施設がもつ必要であり、小規模特別養護老人ホームや介護付き高齢者住宅等の必要量と推進計画を示すべき。

○ 第6期荒川区高齢者プランにおいて、地域における介護保険サービスの利用状況を明らかにし、今後のサービスの見込み量や、サービス確保の方策を明らかにする。

○ 特別養護老人ホームや住宅系応じたいと考えている。

○ にこにこすくーるや学童クラブを利用する保護者からは、延長保育、学校休業時の繰り上げ保育拡大のニーズが高いが見解を問う。

○ 平成27年度には二瑞小、四峡小、七峡小の3校でにこにこすくーるを開設する。その3校の学童クラブで午後7時までの延長利用を試行的に実施する。

○ にこにこすくーるの全校開設を繰り返し要望してきた。これまでの枠を乗り越え、発想を転換し糸口を見出すべきと考えるがどうか。

○ にこにこすくーるの平成28年度の全校開設を目指し、学校等との連携を強め精力的に取り組む。

○ その他の質問項目

○ 加速する高齢社会を安心して暮らすために

○ 将来想定される課題を踏まえた汐入地域対策について

○ 施設の入所者、在宅の重介護者へも生活支援や見守り、リハビリなどが必要で、介護保険の上乗せ等や福祉施策の実施を求める。

○ 区はこれまでも介護保険制度上のサービスに加え、地域の力で高齢者を支える活動に努めてきた。今後も高齢者が安心して暮らし続けられるよう取り組む。

○ 多くの方が遠くの介護施設などに入所している。お見舞いのためのバス運行を行ってはどうか。

○ どれだけの親族が特定日時のバスでお見舞いに行くか勘案すると、運行は現実的でないと考え、子どもたちの貧困対策と子ども・子育て支援新制度を問う

○ 子ども・子育て支援新制度導入後も、これまでの保育・教育の質を落とさず、向上、拡充することを改めて表明するよう求める。

○ 新制度施行後も区独自基準を維持し、施設整備助成や専門研修

○ 各一般質問の詳細については、現在作成中の会議録ができれば、区立図書館及び区役所2階の情報提供コーナーにおいて閲覧できます。

また、荒川区議会ホームページ (<http://www.city.arakawa.tokyo.jp/kugikai/>) で平成13年5月以降の本会議録を検索することができます。あわせてご利用ください。

あらみい あら坊

西日暮里駅周辺の環境改善、ドッグランの整備を問う

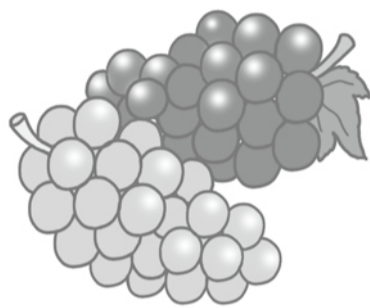


清水啓史
(民主・市民)

西日暮里駅周辺の環境改善を問う
4路線が乗り入れる西日暮里駅周辺は通行者も増えているが、駅舎を出ると駅の構造上薄暗く、歩道も狭く感じられる。荒川区の玄関口にふさわしい駅前となるよう、環境改善への取り組みを求め、見解を問う。

西日暮里駅は、開業時、既に市街化が進んでいたことなどから、駅前広場など周辺の都市基盤が十分に整備されていない課題は区としても認識している。現在、市街

なつた組織に管理運営してもらうことが重要であり、これらの解決状況を踏まえることが整備に当たる際の基本的な考えである。
その他の質問項目
○教育委員会制度改正について
○鉄道沿線住民への対応について



地再開発事業を進めており、その中で、駅周辺が快適な空間となるよう、環境改善について検討する。ドッグランの整備を問う
港区ではドッグランを試行した検証結果として、有効性と課題を取りまとめ、設置条件と管理の基本的な考え方を示している。ドッグラン設置のニーズがある中で、区は整備に当たりどう考えるのか。

公園等へのドッグランの整備には、一般利用者や近隣住民からの理解とともに、愛犬家が主体と

「言論空間の正常化を各分野で進める」と及び「歪んだ民主主義等で息苦しさや危険を誘引する風潮の是正」を求める



小坂英二
(日本創新党)

言論空間の正常化を各分野で進めるよう求める

区は部落解放同盟発行の解放新聞を毎月100部購読している。著しく不適当で購読を廃絶すべき。

区は参考資料として購入し、必要な部数の見直しを行ってきた。

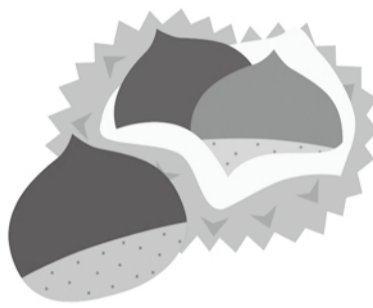
区内での特定の新聞社のみ新聞掲示板設置は偏った政治誘導になる。撤去や用途変更すべき。

「写真新聞ニュース」については、企業からの寄付により、各校で掲示しているものである。

から見ると認めることは難しい。

自治基本条例は議会制民主主義を機能不全に陥れるもので、断じて制定すべきでないと考え。

自治基本条例は、現時点で区民の中に、制定の機運が高まっている状況にはないと認識している。



区役所内での幹部職員の政党機関紙購読状況調査を行い、庁舎内の購読要請、集金は止めるべき。

政党機関紙は各自の判断で購読しており、庁舎管理等の観点から大きな問題はないと認識している。

歪んだ民主主義等で息苦しさや危険を誘引する風潮の是正を

手持ち花火は、区立公園では全面禁止となっているが、ルールや防火体制等条件を満たすモデル公園では可能とすべき。

公園での花火の使用は、現状

荒川区立第三日暮里小学校の管理運営について問う



浅川喜文
(正論の会)

荒川区立第三日暮里小学校女性校長の遅刻等の常習化について問う
第三日暮里小学校校長は平成22年度に着任以来、遅刻が常態化している。例えば平成23年度は1月7回、2月12回、3月5回と3か月間だけで24回も遅刻したが、年休申請は4回だけである。平成

昨年来、一般質問、委員会等で提案したことの評価と今後のこと及び巨大地震対策、提案し続けている具体策の実現・実施について問う



斉藤泰紀
(自民党)

昨年来、一般質問、委員会等で提案したことの評価と今後のことについて問う

近い将来、行政需要はさらに増大していく。今からしっかりと行政改革に取り組むことが必要であり、その方針を具体的に決め、実質的・具体的計画を策定することが必要と考えるがどうか。

今後の行政評価においては、職員の経費削減に向けた意識を高め、中長期的な事業の在り方についても検討する。行政改革の方向性を定める「あらかわ区政経営戦略プラン」では、年次計画には至らない検討事項についても課題として明記するよう指示している。

小規模事業者経営力強化支援

24年度も4月6回、5月6回、6月5回と3か月間だけで17回も遅刻したが、年休申請は7回だけである。これで教育者と言えるのだろうか。関係者がこの件について陳情しているが解決していない。異常な校長の勤務実態を教育委員会はどのように認識しているのか。

校長の勤務状況は、これまで問題があるとの指摘があり、具体的に調査を行った。4月以降の出勤状況では、出勤を確実に確認できない日があったため、教育委員会として厳しく指導し、現在は定刻までに出勤させている。

第三日暮里小学校校長の遅刻の常態化や虚偽の年休簿提出及び職員に対するパワーハラスメントは、東京都教育委員会の懲戒事由に該当する。適正に都教育委員会に懲戒処分を内申すべきである。

質問にあった案件も含め、さらに継続して調査を行うとともに、PTAや地域の方々の意見も伺い、必要に応じて厳正な対応を取る。

を見直し、老朽化した尾久図書館は宮前公園内に整備してはどうか。

来年度は第二子ども読書活動推進計画の最終年度で、28年度には、(仮称)荒川二丁目複合施設の開館を予定している。新たな読書活動推進計画は、提案の宣言や条例も視野に入れて策定する。

また、図書館の適正配置や在り方を考える中で、尾久図書館建て替えの必要性は認識しており、宮前公園等の整備と合わせ検討する。

巨大地震対策、提案し続けている具体策の実現・実施は

巨大地震で、飲料水、生活用水の確保は、現状のままでは不十分と考える。深井戸整備の際には、消防水利だけではなく、飲料水としても活用してはどうか。

震災時には、各所に蓄えている飲料水の搬送が困難になることも予想される。荒川公園に設置予定の深井戸は、水質検査を実施し、ろ過機なども活用し、飲料水としての基準を満たせるよう検討する。

その他の質問項目

子育て環境整備について

尾久地区のいくつかの課題解決、他地区にも関連して

9月会議日程

- 9月11日 本会議
- 9月12日 本会議
- 9月17日 総務企画委員会
- 9月19日 福祉・区民生活委員会
- 9月19日 文教・子育て支援委員会
- 9月26・29・30日 建設環境委員会
- 10月2・3・6・7・9日 決算に関する特別委員会
- 10月14日 議会運営委員会
- 10月15日 本会議

平成26年度荒川区議会定例会・11月会議は11月27日に開かれる予定です。

高齢者の暮らしを守る介護保険と高齢者福祉及び見えない聞こえない方々の情報コミュニケーション支援を問う



齊藤 邦子
(共産党)

高齢者の暮らしを守る介護保険と高齢者福祉を問う

訪問介護と通所介護の地域支援事業への移行に関して、区は要支援の方々の身体機能の維持、改善に必要なメニューや体制をどう考えているのか。

予防給付の一部を地域支援事業に移行し、「新たな総合事業」として再編する国のガイドライン案の具体的な内容について十分に検討し、適切に対応する。

介護保険法改正では、要介護認定申請前にチェックリストでの確認を行うとしている。要介護認定から締め出すもので、区は申請の権利を守るよう明言すること。

基本チェックリストの活用は、要介護認定を受けなくても、新しい総合事業などを迅速に利用できるように目的を改めたもので、要介護認定申請を拒むものではない。

介護職員の人件費や介護保険料引き下げのために、一般財源を投入するよう国に求めること。

既に区は、国に対して介護職員の処遇改善等の要望をしているが、引き続き介護報酬改定の動向を注視する。一般財源を投入した介護保険料の軽減は、保険料減免3原則からも適切でないと考え、見えない聞こえない方々の情報コミュニケーション支援を問う

視覚障がい者の情報通信支援用具購入補助については、当事者の声を聞いて改善し、点字図書の

購入は、手続きの簡便な横浜方式を検討しよう求める。

日常生活用具の品目選定、最適な用具を選択するための情報提供の方法、及び点字図書の購入方法について、視覚障がい者の意見や要望も伺いながら見直している。

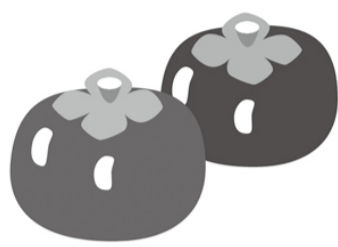
手話講習会の回数について、受講者は年間30回では学びきれず、40回にするよう求める。また、区民・区職員に手話への関心を高め講習会への参加を促進すること。

手話講習会は、講師や受講生の意見を聞き、実施方法を検討している。また、職員対象の手話研修により裾野の拡大に努めている。

視覚障がい者、聴覚障がい者の災害時等の情報提供の在り方を総合的に検討し、防災点字マップ配布や手話通訳者ベストの活用などはすぐに具体化するよう求める。

防災点字マップは、障がい者の声や他区の実施状況などを調査する。手話通訳者ベストは、避難所開設運営訓練で活用しており、今後定着させる予定である。

その他の質問項目
○今やるべき防災対策について



平成 25 年度決算を認定 決算に関する特別委員会

平成 25 年度一般会計歳入歳出決算ほか 3 特別会計歳入歳出決算については、議長・監査委員を除く全議員で構成される決算に関する特別委員会(委員長=若林清子、副委員長=小島和男)を設置しました。9月26日から審査を行い、いずれも認定することに決定しました。



決算の審査経過

- 9月26日
 - 監査委員意見(茂木弘監査委員)
 - 決算の概況説明(副区長)
 - 主要施策の成果説明(副区長)
 - 総括質疑(8会派)
 - ※主な質問項目は別掲
 - 一般会計歳出審査(議会費・総務費)
 - 9月29日
 - 一般会計歳出審査(総務費)
 - 9月30日
 - 一般会計歳出審査(総務費・民生費)
 - 10月2日
 - 一般会計歳出審査(民生費)
 - 10月3日
 - 一般会計歳出審査(民生費・衛生費)
 - 10月6日
 - 一般会計歳出審査(衛生費・環境清掃費・産業経済費・土木費)
 - 10月7日
 - 一般会計歳出審査(土木費・教育費)
 - 10月9日
 - 国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算
 - 審査
 - 採決
 - 採決の結果
 - 認定することに決定

監査委員による決算審査の報告

平成25年度決算については、各会計歳入歳出決算書、その他地方自治法に定める書類等を審査いたしました。その結果、決算計数に誤りはなく、各会計の決算内容、予算の執行状況等も適正と認められましたので、その旨の審査意見書を、8月28日に、区長あて提出いたしました。区の財政運営は収支状況及び各種財政指標等が示すとおり、健全であると、評価できるとしております。わが国の経済は、「一部に弱さも見られるが、緩やかな回復が続いている」とされていますが区内企業からは、いまだ景気回復の実感がな

効果的な事務処理に一層努めていく必要があります。あわせて、債権管理については、適正化のために着実な取り組みを続けられていますが、引き続き収入未済の解消等に向け、適切かつ積極的に対応するよう求めるものであります。

平成25年度 荒川区主要施策の成果説明(一部抜粋・要旨)

- 生涯健康都市
 - 親子後支援事業
 - 障がい者が生涯地域で生活できるように、区内にグループホーム等を整備する事業者に対し、開設経費の一部を補助するとともに、成年後見制度の利用を促進した。
 - 子育て教育都市
 - 放課後子どもプランの拡大及び学童クラブとの一体的運営
 - 放課後の児童の安全・安心な活動拠点を確保するため、新たに2校で、ここにこすくーる(放課後子どもプラン)を開設した。
 - 産業革新都市
 - 雇用促進事業
 - JOBコーナー町屋での職業紹介
- 文化創造都市
 - 伝統工芸技術継承者育成支援事業
 - 荒川区の伝統工芸技術を次世代へ継承するため、伝統工芸技術保
- 安全安心都市
 - 木密地域不燃化10年プロジェクト(荒川二・四・七丁目地区)
 - 「荒川二・四・七丁目地区」において、地域の不燃化、主要生活道路や公園等の整備、延焼遮断帯を形成する都市計画道路の整備等、重点的な取り組みにより木密地域の改善を加速させた。
 - 計画推進のために
 - 荒川区職員ビジネスカレッジ
 - 2年課程の「本科課程」、短期間で資格等の取得を応援する「実務専門課程」、管理職等を対象とした大学院などカリキュラムの充実を図った。

主な総括質疑

自民党

服部 敏夫 委員

- ・下田市との災害時相互応援協定と下田臨海学園の備蓄について
- ・区立介護施設の現在の利用状況を踏まえた今後の方針について
- ・京成電鉄高架下における駐輪場整備等の活用について

自民党

明戸真弓美 委員

- ・日暮里駅前に観光案内所を設置することについて
- ・若い世代への情報発信としてメルマガジンの周知策について
- ・道路拡幅整備に伴い影響を受ける店舗への支援策について

共産党 横山 幸次 委員

- ・消費税の10%への引き上げに対する

する区の認識について

預金に入った差し押さえ禁止財産に対する区の認識について

生活に困窮する相談者への庁内横断的な把握と対応について

公明党 吉田 詠子 委員

- ・認知症の予防と早期発見のための担当部署等の設置について
- ・防災士の育成に向けた資格取得のための支援策について
- ・東日本大震災を忘れないための朗読会等の取り組みについて

民主・市民 竹内 明浩 委員

- ・現状を踏まえた洪水ハザードマップの見直しについて
- ・水害への意識向上のため電柱への想定浸水深の表示について

元気クラブ

斉藤 裕子 委員

- ・日暮里区民事務所建て替えと尾久本町ふれあい館建設について
- ・日本創新党 小坂 英二 委員

正論の会 浅川 喜文 委員

- ・少子化対策として二世帯近居・三世帯近居の推進を図れ!
- ・健康寿命延伸、認知症予防に向けた歯科検診の体制について

改革の会 藤澤 志光 委員

- ・総括質疑についてはDVDを広報課及び各区立図書館で貸し出しますのご利用ください。

平成25年度 決算の概要

	予算現額	歳入(収入率)	歳出(執行率)	歳入歳出差引 残 高
一般会計	901億7379万円	858億7084万3662円 (95.2%)	833億9666万9456円 (92.5%)	24億7417万4206円
特別会計				
国民健康保険事業	262億2002万9000円	255億2598万4374円 (97.4%)	254億3723万4665円 (97.0%)	8874万9709円
後期高齢者医療	43億300万円	39億9566万2855円 (92.9%)	38億5868万5174円 (89.7%)	1億3697万7681円
介護保険事業	163億2406万円	147億8227万1229円 (90.6%)	144億473万1603円 (88.2%)	3億7753万9626円
計	1370億2087万9000円	1301億7476万2120円	1270億9732万898円	30億7744万1222円



平成25年度決算をこう評価する

10月15日の本会議において、平成25年度一般会計決算について各会派から討論が行われました。その要旨をお知らせします。

賛成

自民党

25年度決算について、このたびの決算審査で成果を確認したが、区政の全般にわたって区民サービスの向上に向けた着実な前進が図られており、改めて西川区長の成果を高く評価する。

まず、財政状況について、経常収支比率や公債費比率は我が党が提案した水準の範囲内にあり、引き続き健全な財政運営を維持している。厳しい財政状況が改善されてきたのは、我が党が主張し続けてきた行財政改革に、区が熱意を持って取り組んだ結果と評価する。防災・防犯では、区の公共施設

が存在する自治体との災害時相互応援協定締結の実施や区民が確保すべき備蓄計画の策定と周知、公園等における防犯カメラの早期設置などを求める。

健康・福祉と子育て支援では、介護予防の拠点施設の整備や障がい者の親なき後対策の推進等への積極的な取り組み、放課後子ども総合プランの早期全校実施や私立保育園・幼稚園等への各種支援の充実等を要望する。

教育では、小中学校の教育環境の整備はもとより、学力向上マニフェスト事業における学力向上、素地域づくり計画」を踏まえ温暖

学校パワーアップ事業のさらなる充実などの取り組みを要望する。道路や公園等の整備では、京成高架下の有効活用、藍染川西通り道路のフラット化等に向けての積極的な取り組みを要望する。

産業振興では、地域活性化のため、区内のものづくり産業の活性化を図るとともに、各ハローワークとの協力を深め、子育て中の女性や若年者に対する一層の就労支援の充実が図られるよう期待する。観光振興及び地域振興では、あらかわ遊園を積極的に活用する等により、観光振興と地域活性化が図られるよう期待する。さらに、日暮里駅での観光案内所設置、日暮里区民事務所と隣接地を活用した拠点施設の設置を要望する。環境については、「荒川区低炭

賛成

公明党

数多くの事業や取り組みを積極的に進め、着実な執行がなされたことを評価。今後も区民サービスの向上に努力するよう求める。

本区の財政運営の健全性を主な財政指標から見ると、経常収支比率、公債費比率は改善しており、健全化判断比率の各数値も早期健全化基準を大きく下回っている。また、包括年次財務報告書においても負債は前年よりも減少し、将来世代への負担は確実に減少している。しかし、今後は法人住民税のさらなる国税化等の影響が懸念

される一方、社会保障関係費の増大、老朽化した公共建築物の更新等、多額の財政負担を伴う行政需要が見込まれる。従って、今後の区政運営については財政の健全性を確保しつつ、施策や事業のさらなる重点化を図るべきと考える。

具体的施策では、我が党が予算要望として区長に提出した「荒川公明ビジョン100」等に掲げ

た項目は、概ね予算化され執行されている。さらに決算特別委員会で、認知症対策、防災士の資格取得の支援策、公共施設の老朽化対策に活用できる固定資産台帳の整備、ふれあい館利用児童の見守り充実、在宅育児家庭に対する支援の強化、地域の声を反映したコミュニティバス運営、捨て看板の即刻撤去に向けた取り組みの強化などについて要望や提案を行った。基本的に前向きな答弁がなされており、今後、実現に向けて早急な検討に入ることを強く要望する。

以上、平成25年度決算については数多くの事業や取り組みを積極



反対

増税や社会保障費の削減が続く状況下で、区民の暮らし応援のための施策に踏み込むべき

共産党

本決算年度は、長期不況の下、所得、賃金、年金の減少、増税や社会保障費削減という年だった。こうした状況の中で、我が区区議団は区民の暮らし応援のための条例や予算の増額修正案を提出したが、残念ながら否決された。

第一に、本決算に関わる予算は、全体に5%シーリングをかけ事業見直しを行う中で、荒川二丁目の複合施設は事業規模を縮小すべきと求めたにもかかわらず、建設規模の拡大が進められてきた。施策の優先順位が間違っているのではないかと。第二にタブレットPCの全校・全児童1人1台体制の推進は、教育的な検討もまま多額の投資は容認できない。また、これまでのコンピュター室のパソコンリース代も残され無駄遣い

賛成

区民誰もが、荒川区に住んでいてよかったと実感できる区政となるよう、さらなる取り組みを求める

民主・市民

本決算については、限られた財源を重点的かつ効果的に配分すること、事務事業の再点検・見直しを図ること、中長期的な視点に立った財政運営を行うことといった当初の狙いがしっかりと果たされたのかという視点で決算審査に臨んだ。水害への対策等では、ハザードマップ作成や想定浸水深の表示、内水氾濫への雨水タンクの活用、防災課等への女性職員の増員を求める。子どもの貧困、児童虐待の問題では、妊娠届・母子健康手帳配付時の対応改善や子ども家庭支

反対

議会の異論にもかかわらず強引に施策を推進。区民の暮らしがどうしたら豊かになるか、答えを出せる区政に。

元氣クラブ

隅田川の「永久水利」による防災対策、タブレットPC、荒川二丁目複合施設等に反対したが、議会の異論にもかかわらず、半ば強引に進められた。区長が「3回の

反対

国益を常に考え、歴史の縦軸の中で何をしっかりと引き継ぐべきかという大局観をもつべき

日本創新党

学校教育全体を道具頼りで自律性のない方向に劣化させるタブレットPCの全校導入に向けたモデル校事業を強行した。子供にタブレットPC等を使わせる害悪につ

反対

荒川二丁目複合施設建設やサンパール荒川の大規模改修、無計画な学校教育のデジタル化で1億円超の税金の無駄は容認できない

正論の会

決算認定に反対の討論をする。他自治体では、箱モノ建築の見直しや公共施設の効率化・集約化などを進めている。一方、荒川区は

賛成

永久水利には、利用が限定される河川水ではなく、多目的に使える深井戸を進めるべき

改革の会

荒川区の財政が厳しい中で、区の単独負担事業として隅田川を利用した、あらかわ遊園永久水利事業が、当初予算1億7千万円で実

委員会活動

平成26年第1回定例会終了後から平成26年度定例会・9月会議最終日までの間の各委員会の活動状況をお知らせします。

3月18日～10月15日

議会運営委員会

議会改革に関する調査や、議事の取り扱い等についての協議を実施

開会数 13回(ほか理事會19回) 案件 請願・陳情審査1件

総務企画委員会

「親なき後の支援に関する研究プロジェクト」の報告書や創業支援実施計画の実施について調査

開会数 12回 議案審査9件 所管調査事項10件

常任委員会

北海道小樽市「市議会の議会運営、委員会運営」、北海道旭川市「政務活動費の運用」、「市民と議会の意見交換会等の議会広報」

- 平成26年度荒川区議会定例会について(開会会議の会議期間について ほか)
- 平成26年度荒川区議会定例会・5月緊急会議について(初日の開会日について ほか)
- 平成26年度荒川区議会定例会・6月会議について(初日の開会日について ほか)
- 平成26年度荒川区議会定例会・6月会議について(6月会議の終了について ほか)
- 平成26年度荒川区議会定例会・9月会議について(初日の開会日について ほか)
- 平成26年度荒川区議会定例会・9月会議について(議事日程について ほか)
- 平成26年度荒川区議会定例会・9月会議について(議事日程について ほか)

【所管調査事項】

- 行政改革について
- 産業振興について
- 創業支援事業計画の実施
- 「親なき後の支援に関する研究プロジェクト」の報告書
- 指定管理施設に関わる平成25年度の実績評価結果
- 平成26年度都区財政調整(当初算定)の荒川区算定額
- 平成26年度行政評価の結果報告
- 「平成25年度荒川区包括年次財務報告書」

- 水利にしか利用できず、費用対効果から極めて無駄が多い。それに対して深井戸の水利活用は、消防水利のみならず、生活用水や飲料水にも使え、湯水期の利用もできる。永久水利の全体計画を早期に見直し、河川水でなく、深井戸を進めるべきだ。以上申し述べたが、本決算は予算に対し、概ね適正に執行されており、賛成討論とする。

【行政視察】

- 滋賀県「通年議会に係る実施状況及びこれまでの検討経緯、結果等」、堺市「議会力向上会議の実施内容や検討経緯及び結果
- 山口県萩市「市立博物館の管理運営」「産業振興の取り組み」

- ・区内視察
 - ・ホテルラングウッド
- ・区外所管施設調査
 - ・静岡県下田市「区外所管施設に係る意見交換」、下田臨海学園「施設管理状況を調査研究」ほか

文教・子育て支援委員会

タレットPC導入モデル事業
検証報告や町屋保育園跡地における私立幼稚園の誘致について調査

開会数 11回
議案審査12件
請願・陳情審査3件
所管調査事項28件

【所管調査事項】

- ・タレットPC導入モデル事業検証報告〔平成25年度報告〕
- ・平成26年度荒川区立小中学校におけるタレットPCの導入
- ・平成26年度区立幼稚園等・小中学校の就学状況
- ・荒川区学校教育ビジョン推進プラン（第三期推進プラン）の策定
- ・「荒川区学校図書館活用指針」の策定
- ・尾久地域における私立認可保育園の整備
- ・小中学校PC教室のPCの今後の扱い
- ・臨時福祉給付金及び子育て世帯臨時特例給付金の実施
- ・保育所持機児童等の状況
- ・平成27年度入学生に対する小中学校の学校選択制度の実施
- ・小学校の通学路における防犯カメラの設置
- ・「荒川区タレットPC活用指針」の策定
- ・幼稚園保育料に関する保護者負担軽減の拡充

- ・児童数の増加への対応
- ・小学校使用教科用図書の採択結果
- ・平成25年度生涯学習施設、荒川総合スポーツセンター及び保育施設の実績評価結果
- ・生涯学習施設（4施設）の指定
- ・管理者候補者の選定結果
- ・町屋保育園跡地における私立幼稚園の誘致
- ・（仮称）荒川二丁目複合施設の施設名称
- ・（仮称）吉村昭記念文学館友の会の設立
- ・平成27年度区立幼稚園等の入園募集
- ・学校パワーアップ事業の成果報告及び実施計画
- ・平成26年度全国学力・学習状況調査の結果
- ・今後の放課後児童対策
- ・東日暮里六丁目における私立認可保育園の開設支援 ほか

- ・風しん抗体検査及び風しん予防接種の助成事業の実施
- ・臨時福祉給付金及び子育て世帯臨時特例給付金の実施
- ・平成25年度荒川区包括外部監査の指摘事項及びその改善策
- ・医療費分析を踏まえた糖尿病重症化予防等の取り組みの成果
- ・文化施設3館（荒川区民会館・日暮里サニーホール・荒川区ムーブ町屋）の指定管理者候補者の選定結果
- ・平成25年度文化施設、ふれあい館、福祉施設及び荒川区営住宅の実績評価結果
- ・ふれあい館4館（南千住・荒川山吹・町屋・尾久）の指定管理者候補者の選定結果
- ・荒川区営住宅の指定管理者候補者の選定結果
- ・水痘ワクチン及び高齢者肺炎球菌ワクチンの定期予防接種化

- ・宇都宮市『まちぐるみで認知症ケア』の取り組み、「はいかい高齢者等の位置検索システム利用助成」
- ・【区内施設調査】
 - ・特別養護老人ホームおたけの郷
 - ・小台橋あさがお（就労移行支援施設（パン工房）及び就労継続支援B型作業所）
- ・【区外所管施設視察】
 - ・グリーンパール那須「施設運営状況調査」「保養所のあり方全般について」

【行政視察】

- ・金沢市「金沢市児童相談所の管理運営」、「玉川図書館及び玉川こども図書館の管理運営」
- ・【区内視察】
 - ・第二日暮里小学校におけるタレットPCを活用した授業視察
- ・【区外視察】
 - ・神奈川県横須賀市「児童相談所及び一時保護所の管理運営」

【区内視察】

- ・風しん抗体検査及び風しん予防接種の助成事業の実施
- ・臨時福祉給付金及び子育て世帯臨時特例給付金の実施
- ・平成25年度荒川区包括外部監査の指摘事項及びその改善策
- ・医療費分析を踏まえた糖尿病重症化予防等の取り組みの成果について調査

福祉・区民生活委員会

医療費分析を踏まえた糖尿病重症化予防等の取り組みの成果について調査

開会数 9回
議案審査11件
請願・陳情審査7件
所管調査事項12件

【所管調査事項】



グリーンパール那須

- ・【建設環境委員会】
 - ・（仮称）荒川区リサイクルセンターの整備計画や西日暮里駅前地区におけるまちづくりの進捗について調査
- ・【所管調査事項】
 - ・「木密地域不燃化10年プロジェクト」における不燃化特区（町屋・尾久地区）の指定及び整備プログラムの認定
 - ・防災街づくり事業の推進のための代替地及び広場の整備
 - ・（仮称）荒川区リサイクルセンターの整備計画及び基本設計
 - ・ペットボトル店頭回収事業の終了
 - ・西日暮里駅前地区におけるまちづくりの進捗及び市街地再開発準備組合の設立
 - ・コミュニティバスに関する今後の方向性
 - ・三河島駅前自転車駐車場の指定管理者候補者の選定結果
 - ・荒川区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正
 - ・補助90号線への不燃化促進事業導入に向けた都市計画の変更
 - ・旧町屋ひろば館除却による藍染公園の拡幅及び再整備内容
 - ・隅田川駅セメントサイロ跡地開発事業候補者の選定結果
 - ・平成25年度自転車駐車場及び荒川区民住宅の実績評価結果
 - ・自転車駐車場（南千住駅東口・センターまちや）の指定管理者候補者の選定結果
 - ・荒川区民住宅の指定管理者候補者の選定結果
 - ・隅田川（尾竹橋下流）右岸防潮堤耐震補強工事

建設環境委員会

開会数 9回
議案審査6件
請願・陳情審査2件
所管調査事項17件

- ・三河島駅前南地区再開発事業の施設テナントの出店状況
- ・【区内視察】
 - ・荒川区自転車駐車場3施設（南千住・町屋・日暮里）の運営状況
 - ・三河島駅前自転車駐車場
 - ・荒川区地区計画の区域内（尾久中央地区）
 - ・【区外視察】
 - ・墨田清掃工場



日暮里駅前自転車駐車場

特別委員会

震災対策調査特別委員会

開会数 4回
調査研究事項9件

- ・永久水利用施設完成訓練及び協定の締結や安全確認ツールの作成を調査

【調査研究事項】

- ・「荒川区における永久水利用施設の整備・活用に関する基本計画」の策定
- ・永久水利用施設完成訓練及び協定の締結
- ・荒川区防災地図について
- ・家具類の転倒・落下防止器具取付助成事業の見直し
- ・安否確認ツールの作成

健康・危機管理対策調査特別委員会

開会数 5回
請願・陳情審査1件
調査研究事項3件

- ・災害時における帰宅困難者の一時滞在施設等に関する協定の締結
- ・荒川区地域防災計画の修正
- ・富山県射水市との災害時相互応援に関する協定の締結
- ・荒川公園永久水利用施設の整備
- ・【区外視察】
 - ・北区中央公園内の災害用給水所（深井戸）

【調査研究事項】

- ・「第27回奥の細道千住あらかわサミット」及びその関連事業の開催
- ・荒川区の国内都市交流の動向
- ・汐入水辺フェスタの開催
- ・【区内視察】
 - ・区内観光事業「日暮里・谷中花めぐり」の実施状況

公共施設老朽化等対策調査特別委員会

開会数 6回
調査研究事項3件

- ・荒川区公共建築物中長期改修実施計画の策定を調査
- ・【調査研究事項】
 - ・荒川区公共建築物中長期改修実施計画の策定
- ・公共施設老朽化等対策について（2回）
- ・【行政視察】
 - ・浜松市「浜松市資産経営推進方針」、大阪府枚方市「枚方市市有建築物保全計画」
 - ・【区外視察】
 - ・千葉県習志野市「公会計改革（固定資産台帳の整備）」

観光・文化推進調査特別委員会

開会数 5回
調査研究事項4件

- ・荒川区の国内都市交流の動向や汐入水辺フェスタの開催を調査
- ・【調査研究事項】
 - ・荒川区芸術文化振興プラン（改訂版）の策定

- ・【調査研究事項】
 - ・「第27回奥の細道千住あらかわサミット」及びその関連事業の開催
 - ・荒川区の国内都市交流の動向
 - ・汐入水辺フェスタの開催
 - ・【区内視察】
 - ・区内観光事業「日暮里・谷中花めぐり」の実施状況

- ・【調査研究事項】
 - ・荒川区公共建築物中長期改修実施計画の策定
- ・公共施設老朽化等対策について（2回）
- ・【行政視察】
 - ・浜松市「浜松市資産経営推進方針」、大阪府枚方市「枚方市市有建築物保全計画」
 - ・【区外視察】
 - ・千葉県習志野市「公会計改革（固定資産台帳の整備）」
- ・荒川区議会ホームページにて、各委員会の会議録を順次公開していきます。なお、会議録を公開するまでの期間は、委員会の模様を音声で配信しています。是非ご利用ください。

意見書提出

9月会議では4件を可決し、関係機関に提出しました。

地方税財源の拡充に関する意見書

(衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・財務大臣・総務大臣あて)

「危険ドラッグ(脱法ハーブ)」の根絶に向けた総合的な対策の強化を求める意見書

(内閣総理大臣・総務大臣・文部科学大臣・厚生労働大臣・国家公安委員会委員長あて)

奨学金制度の充実を求める意見書

(内閣総理大臣・文部科学大臣あて)

産後ケア体制の支援強化を求める意見書

(内閣総理大臣・厚生労働大臣あて)



採択・陳情

趣旨採択

・成年後見制度における成年後見人等に対する報酬助成に関する陳情
※同内容の陳情が3者から提出され、いずれも趣旨採択となりました。

請願・陳情とは

請願・陳情は、区政に関する意見や要望を、議会に対して文書で提出する制度です。請願は、区議会議員が内容に賛意を表し紹介議員となっているものを言い、陳情は、紹介議員のないものを言います。荒川区議会では、請願も陳情も、原則として同じ取り扱いをしています。

提出された請願・陳情の審査は、本会議で、関係の委員会に付託されます(※付託とは、審査を委託することです)。委員会が審査された結果、結論が出た請願・陳情は、本会議で議決を行います。請願・陳情の内容について、議会として賛成できるものは「採択」、趣旨には賛成できるが、当分の間、具体的な実現は難しいと考えられるものは「趣旨採択」、賛成できないものは「不採択」とします。賛成した内容は、区の仕事に生かすよう執行機関に伝えます。内容が、国や東京都などが行う仕事の場合は、意見書等を出すこともあります。議決の結果は請願・陳情者の代表の方にお知らせいたします。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

内線 3614

議案の審議結果

平成26年度定例会・9月会議

○ 賛成 × 反対 - 退席
太字は討論のあったことを示す

議案番号・議案名	会派名・結果 (数字は会派人員)										結果	
	自由民主党荒川区議会議員団	公明党荒川区議会議員団	日本共産党荒川区議会議員団	民主党・市民の会	あらかわ元気クラブ	日本創新党	あらかわ正論の会	荒川区改革の会	結果	結果		
議員提出議案(4件)												
第21号	地方税財源の拡充に関する意見書提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第22号	「危険ドラッグ(脱法ハーブ)」の根絶に向けた総合的な対策の強化を求める意見書提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第23号	奨学金制度の充実を求める意見書提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第24号	産後ケア体制の支援強化を求める意見書提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
区長提出議案(37件)												
第28号	荒川区保育の必要性の認定基準等に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第29号	荒川区特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準等に関する条例	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	可決
第30号	荒川区学童クラブの設備及び運営の基準に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第31号	荒川区家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	可決
第32号	荒川区個人情報保護運営審議会条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第33号	荒川区保育の実施等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第34号	荒川区ひとり親家庭の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第35号	荒川区子どもの医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第36号	荒川区学童クラブの運営に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第37号	荒川区手数料条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第38号	荒川区立心身障害者福祉センター条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第39号	平成26年度荒川区一般会計補正予算(第1回)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第40号	平成26年度荒川区国民健康保険事業特別会計補正予算(第1回)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第41号	平成26年度荒川区介護保険事業特別会計補正予算(第1回)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第42号	荒川区立町屋文化センターの指定管理者の指定について	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	可決
第43号	荒川区立生涯学習センターの指定管理者の指定について	○	○	×	○	×	×	○	○	○	○	可決
第44号	荒川区立清里高原少年自然の家の指定管理者の指定について	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
第45号	荒川区立清里高原ロッジの指定管理者の指定について	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
第46号	荒川区民会館の指定管理者の指定について	○	○	×	○	×	×	○	○	○	○	可決
第47号	日暮里サニーホールの指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第48号	荒川区ムーブ町屋の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第49号	南千住ふれあい館の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第50号	荒川山吹ふれあい館の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第51号	町屋ふれあい館の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第52号	尾久ふれあい館の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第53号	荒川区営住宅の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第54号	南千住駅東口自転車等駐車場の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第55号	センターまちや自転車駐車場の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第56号	荒川区民住宅の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第57号	荒川区民住宅の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第58号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて(村井泰雄氏)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	適当との意見
第59号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて(神真理子氏)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	適当との意見
第60号	(仮称)荒川二丁目複合施設建築工事請負契約	○	○	×	○	×	○	×	○	○	○	可決
認定第1号	平成25年度荒川区一般会計歳入歳出決算	○	○	×	○	×	×	○	○	○	○	認定
認定第2号	平成25年度荒川区国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	認定
認定第3号	平成25年度荒川区後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	認定
認定第4号	平成25年度荒川区介護保険事業特別会計歳入歳出決算	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	認定